

令和6年度 会派調査研究報告書

(視察先1箇所につき1枚)

会 派 名	日本共産党上田市議団
事 業 名	「第55回議員の学校」研修会へのZOOMによる視聴
事 業 区 分	①研究研修 ②調査

1 上田市での課題と研修・調査の目的

令和7年度当初予算を審議する上田市議会3月定例議会前に、国の令和7年度予算の概要および特徴、さらに地方財政への影響などを正確につかみ予算審議及び市政の運営に活かすために参考にするために研修会を受講した。

2 実施概要

○開催状況は以下の通りです。

日付/時間帯/場所	視聴方法	パソコンで視聴であり、場所の指定はない。 下記時間帯において、上田市役所会派室において視聴した。
1月16日(木) 12:50～17:30 集中講義 予算審議のツボ① 予算審議のツボ②	ZOOM 視聴	(講義内容) ◇集中講義 予算審議のツボ ① 「自治体財政の基本のすべて」 森裕之氏(立命館大学政策科学部教授) (以下、講義の項目のみ) ・議会の2つの役割 ・議会の役割とコンプライアンス ・財政はこうすれば理解できる ・財政用語の「どうでもいい違い」の事例 ・自治体財政は家計と同じである ・財政は家計(企業)と同じ ・予算と決算はどちらが大切か ・財政再建の原理は簡単明瞭 ・「財政破綻」「財政危機」とは何か ・「黒字」と「赤字」の意味を正確に理解する ・自治体の黒字には2種類ある ・財政破綻の前には基金がなくなる
1月17日(金) 10:00～16:20 予算審議のツボ③ シリーズ講義(5) 「社会保障関係制度改革と私たちの暮らし」		

		・ 基金の種類は3つ ・ 財政の黒字・赤字の視点 <歳入> ・ 地方財政の歳入の内訳 ・ 家計で理解する財政（歳入編） ・ 自治体の歳入（家計による理解） ・ 標準的支出と収入の関係 ・ 歳入のまとめ <一般財源と特定財源> ・ なぜ一般財源が重要なのか ・ 地方税 ・ 地方税の中身（市町村）（都道府県） ・ 課税自主権 <地方交付税と臨時財政対策債> ・ 地方交付税はペットボトルに注ぎ込まれるお茶で覚える ・ 地方交付税の実際の制度 ・ それでも税収は多い方がよい理由（その訳は留保財源にある） ・ 留保財源のわかりやすい説明 ・ 不交付団体は税収増が100%一般財源の増加になる ・ 課税自主権と地方交付税の関係 ・ 臨時財政対策債もペットボトルに注ぎ込まれるお茶で覚える ・ 国は臨時財政対策債を返してくれるのか（モデルによる説明） <国庫支出金（補助金）> ・ 国庫支出金（補助金）の基本的な仕組み <地方債> ・ 地方債は住宅ローンと瓜二つ ・ 地方債の基本的な仕組み ・ 国庫支出金と地方債の組み合わせ <歳出> ・ 財政と歳出の原則 ・ 家計で理解する財政（歳出） ・ 経常収支比率（家計による理解） ・ 歳出をみる場合の注意点（総論）
--	--	---

		・ 公共施設等の財政制度 ・ 歳出をみる場合の注意点（各論） ・ 自治体財政の全体像 ◇集中講義 2 「予算審議のツボ② 2025年度の地方財政計画と自治体予算」 森裕之氏(立命館大学教授) ・ 自治体財政を支える仕組み ・ 地方財政計画（歳出）の推移 ・ 令和7年度地方財政対策の概要（通常収支分） ・ 地方交付税の実際の制度 ・ 公共施設等適正管理推進事業債の仕組み ・ 自治体 DX の推進（都道府県と市町村の連携による体制整備） ・ 自治体財政の全体像 ・ こども・子育て支援事業債の創設 ・ 地方財政計画と今後の自治体 ・ 人口減少と一般財源 ・ 予算を変えるとまちが変わる
	ZOOM 視聴	（講義内容） ◇集中講義 3 「予算審議のツボ③—予算審議のポイントと今後の自治体財政」 森裕之氏(立命館大学教授) 2024年度の予算審議のポイントについて、さまざまな視点を交えながら講義していきます。自治体の政策や予算には一意的な「正答」は存在しません。だからこそ、自治体は多くの人々の思いを「大切な価値」とともに体現した予算をつくらなければなりません。そうした「大切な価値」は議員同士の間でも異なるものであり、住民の思いを背負う議員はそれを予算審議の場において説得的に行政に意見していくことが求められています。 財政はこのような多様な「大切な価値」を実現させていくための手段です。逆にいえば、この手段の知識と論理を欠いた予算審議は説得力がなく、言葉だけの陳情要求にもなりかねません。集中講義3では、どのような「大切な価値」であっても、それを効果

		的に主張していくための財政の論理の組み方をわかりやすくお話しします。 また、予算は一年間だけのものであることから、自治体は中長期的な見通しも持ちながら予算をつくらなければなりません。議会の予算審議においてもこの点は重要です。そのため、集中講義3の後半では今後の自治体財政がどのようになっていくかを考慮しながら、2024年度の予算審議で留意すべき点について検討していきます。 ◇集中講義予算審議のツボ③ 予算審議のポイントと今後の自治体財政 森裕之氏（立命館大学教授） ・骨太の方針 2024 ・骨太の方針 2024（経済・財政新生計画） ・地方税収等の計上の適正化 ・骨太の方針 2024（個別政策） ・立地適正化計画のイメージ ・地方財政審議会意見（令和6年12月6日） ・こども・子育て政策の強化と地方財政 ・広域的なインフラマネジメントの推進 ・広域的なインフラマネジメントの推進（下水道の広域化・共同化） ・これからの地方財政と自治体の財政運営 ・予算審議に向けて ◇シリーズ講義〔1〕 「社会保障関係予算の動向と自治体の福祉施策」 石川満氏（「議員の学校」学校長、多摩住民自治研究所理事） 2024年度の国の社会保障関係予算は引き続き給付費の抑制が進められています。 子ども未来戦略では、児童手当の拡充等が実施されますが、その具体的な財源確保策は必ずしも明確ではありません。医療保険関係では、診療報酬本体はマイナス改定となりそうです。またこれまで以上にマイナ保険証の利用促進も進められます。介護保険制
--	--	---

		度では、一定所得以上の2割負担利用者が大幅に増え、老人保健施設等の室料負担も求められます。 そのほかにも、自治体の福祉施策に影響することが少なくありません。これらについて議会でどのように住民の暮らしを守るための議論を進めるか、考えます。
--	--	--

◆上田市政に活かせる課題等

＜講座の内容及び上田市に活かせること＞

① 令和6年度地方財政対策のポイント

ア 一般財源総額確保等

イ 定額減税による減収への対応

ウ こども・子育て政策の強化に係る地方財源の確保

エ 給与改定・会計年度任用職員の勤勉手当支給に要する地方財源確保

オ 物価高への対応

以上について資料を使って詳細に説明を受けたので参考としたい。

② 国の令和7年度予算に関する上田市で活用できる課題について

ア 公共施設の集約化・複合化推進の分野

集約化・複合化事業に来年度から除却事業が対象に追加された点

イ デジタル活用推進事業債（仮称）の分野

デジタル活用推進計画に位置付けて実施する事業について地方財政措置が取られた点

ウ 水道事業等の防災対策の推進

令和6年能登半島地震の教訓を踏まえ、災害時の水の確保が極めて重要であるので、地方団体の水道事業等の防災対策を強化するための地方財政措置を拡充した点

③ 地方自治体の参考例として、京都市と明石市の例が紹介された。市政の運営と財政や人口問題などに大きく影響していることが分かりやすく説明があった。今後の上田市政に活かしていきたい。

④ 令和6年度の社会保障関係費予算の動向、子ども・子育て政策の強化（加速化プラン）の財源の基本骨格、令和6年度介護報酬改定・障害福祉サービス等報酬改定、介護保険制度改革などをもとに上田市における子育て支援、福祉施策に参考としたい。

① 案内チラシ



Change!
その先に地方政府への道

多摩研

第55回

議員の学校

●主催 NPO法人多摩住民自治研究所
[会場+オンライン(定員100人予定)]

2025
1/16 (木)
/17 (金)

見逃し配信あり
2025年
3月末まで

●会場: PlanT(プラント)日野市多摩平の森産業連携センター イベントスペース
(JR中央線豊田駅北口下車 徒歩5分 〒191-0062 東京都日野市多摩平2-5-1)

■集中講義 講師: 森 裕之氏 立命館大学政策科学部教授

予算審議のツボ①「自治体財政の基本のすべて」

予算審議は議会の最大の仕事です。その前提は、自治体財政の基本をマスターしていることです。自治体財政の基本は単純明瞭なものです、一般の資料等を読んでも身につけません。そこには必要のない情報が溢れているからです。集中講義①では、自治体財政の基本を徹底的に身につけてもらいます。新人・リピーターを問わず、だれにでも受講してほしい内容です。

予算審議のツボ②「2025年度の地方財政計画と自治体の予算」

日本の財政は国が全体を掌握しており、自治体は国の地方財政計画に基づく財源の配分を受けて予算を決めます。地方財政計画には重点政策等の予算措置が示され、自治体はその内容を押さえておかねばなりません。集中講義②では、2025年度の地方財政計画の内容が自治体財政にどのように反映するのかをみていきます。

予算審議のツボ③「予算審議のポイントと今後の自治体財政」

2025年度の予算審議のポイントについて、さまざまな視点から講義していきます。自治体の政策や予算には「正答」は存在しません。予算審議では、自分たちの総意としての「大切な価値」を体現した予算が決められなければなりません。集中講義③では、中長期的な自治体財政の見通しをふまえながら、予算審議で必要となる財政の論理を事例に基づいてお話ししていきます。

■シリーズ講義(5) 講師: 石川 満氏 元日本福祉大学教授・多摩住民自治研究所理事

「社会保障関係制度改革と私たちの暮らし」

財政制度審議会の「令和7年度予算の編成等に関する建議」を見ても、「全世代型社会保障の構築」の名のもとに医療・介護などでさまざまな給付費の抑制策や高齢者等の自己負担金の増額等が検討されています。このほか、少子化対策や年金制度改革、生活保護制度改革、地域医療構想の見直し等も実施されます。このような中で、私たちの暮らしはどうか、市町村等の予算にどのような影響が生じるか、検討します。全般的な見通しは厳しいものになります。

大好評！ 森裕之先生の
自治体予算集中講義

どこよりもわかる新年度予算審議のツボ



NPO法人
多摩住民自治研究所
tel: 042-586-7651

第55回議員の学校お申込み



ご期待ください!

〒191-0016 東京都日野市神明3-10-5 エスプリ日野103 HP●<https://tamajichiken.wixsite.com/info>